

## ニカラグア定期報告（2016年9月）

2016年10月  
在ニカラグア日本大使館

### 【要旨】

内政面では、ヌニェス国会議長が死亡、レジェスPLI代表が大統領選への出馬を辞退した他、宗教関係者に対する入国規制が緩和された。対外関係では、対ニカラグア制裁法案が米連邦下院において可決された他、フネス・エルサルバドル前大統領が当国に亡命した。経済面では、21日に本年の補正予算が国会で可決され、地方自治体に約2億ドルが当てられる等多数の政府機関が予算増となった。

### 【主な出来事】

#### 1 ヌニェス国会議長の死去

10日、肺疾患のためコスタリカの病院に長期入院していたヌニェス国会議長が死亡した。遺体は陸路にて当地へ護送され、11日、当国国会にて同議長の追悼式典が行われた。同式典においては、オルテガ大統領が演説を行い、冒頭部分にて、出席していたアルファロ・コスタリカ国会副議長に対し、遺体の護送に係るコスタリカ側の配慮に謝意を表した。20日、故「ヌ」議長を元々の任期である明年1月9日まで引き続き議長とする旨の国会執行委員会の決定が、本会議にて承認された。右決定に関し、リセット・モンテネグロ議員（無所属）は、国会法は、執行委員（議長含む）に欠員が生じた際は後任選出の手続きを行う旨定めていると指摘した。

#### 2 レジェスPLI代表の大統領選出馬辞退

19日、野党PLIのレジェス代表は、党務に専念するとして、11月の大統領選への出馬の辞退を表明した。リオスPLI副大統領候補は、レジェス氏は党のイメージにはマイナスであったと述べ、バリオスPLI議員候補は、レジェス党首は非常識な人物であり、党が同候補の辞退を望んだと述べた。20日、アルバラド氏が新たなPLI大統領候補に指名され、同氏は、「引き続き選挙キャンペーンを実施していく。今回の件は、単なる候補者の交代に過ぎない。」と述べた。28日、レジェス代表は、明年1月のPLI党大会以降は代表職を退く旨表明した。

#### 3 宗教関係者に対する入国規制の緩和

オルテガ政権は、当地キリスト教関係者（特に福音派）の反発を招いていた宗教関係者に対する入国規制につき、入国審査手続を簡素化することによる規制の実質的な緩和に応じた。モンカダ大統領顧問等政府関係者は、5日にブレネス枢機卿等カトリック教会関係者と、7日に福音派主要団体代表とそれぞれ会合を行い、入国規制の緩和に関する政府案

について説明を行った。入国規制の完全な撤廃を訴えていた福音派も、提示された政府案に不満を示しつつも、最終的にこれを受け入れた。

#### 4 対ニカラグア制裁法案（通称：NICA Act）の米連邦下院通過

（１）２１日、米連邦下院は対ニカラグア制裁法案を全会一致で可決した。サカサ元外務大臣（元駐米大使、野党PLC）は、「同法案の下院での（提出から）承認までのプロセスの早さ及び全会一致で可決されたことに驚いている。同法案は（透明性ある選挙だけでなく、選挙管理委員、最高裁判事等に係る）汚職（の調査報告）についても含み、重要性が高まっている。クルーズ議員が上院に提出済みの法案と下院から送付される法案との乖離が大きい場合には、両院合同委員会が設置され一本化された上で両院の承認が求められる。」と述べた。アグリ民間企業最高審議会（COSEP）会長は、米連邦下院の通過に懸念を示し、同法案の反響は米国からの投資に反映する、ニカラグアの経済発展のための取り組みにとっての障害となることを不安視している、この現状に際してニカラグア政府の行動が慎重になる良い機会となると述べた。同法案が上院で可決された場合、大統領に送付され、大統領が１０日以内に拒否権を行使しなければ発効に至る。

（２）２２日、当国政府は、制裁法案の下院通過を受け、以下の内容のプレスリリースを発売した。また、２３日のハレスレーベンス副大統領の国連総会一般討論演説においても、右プレスリリースの内容を繰り返す形で、制裁法案への拒否姿勢が示された。

ア ニカラグア政府は、ラ米・カリブにおける民主的、多元的、発展的プロセスに関する誤った情報によるメディア・キャンペーンと脅しを行うことで一致した米国議会議員が発出している最近の情報に関しコメントする。

イ 米国議会における提案とイニシアチブは、選挙の時期に顕著となる我々の固有かつ主権的な政治的・社会的・経済的な政治プロセスへの干渉であり、国際法並びに国連憲章に違反するものとして、これを拒否する。

ウ ニカラグアは、貧困対策で重要な成果を得て来ている「連合、対話、コンセンサス・モデル」を通じ、平和、安定、ガバナンス、及び前進を継続・深化させている。

エ ニカラグア政府は、共通の利益のために我らが結集している右モデルを堅持していくことを重ねて表明するとともに、信頼と希望とともに投票しようとする国民の高い支持を得て実施される１１月６日の選挙を数週間後に控えたこの時期に、平和、治安、安寧、及び民主主義への変わらざる使命を再確認する。

#### 5 フネス・エルサルバドル前大統領の当国への亡命

６日付当国官報は、フネス・エルサルバドル前大統領（左派FMLN）の当国への亡命を許可する外務省決定を掲載した。当国外務省は、ニカラグア憲法は民主主義、平和、正義及び人権のために闘ったために追及を受けている者に対して庇護を与えると定めるとした上で、フネス前大統領及びその親族の政治亡命申請につき、これを許可する旨決定した。

サカサ元外務大臣（野党PLC）は、右亡命許可に関し、「オルテガ大統領は、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領（FMLN）に手を貸そうとしているが、フネス前大統領は司法からの逃亡者と見なされている人物であり、大きな代償を払うことになるだろう。亡命受入れは割に合わない取引だ。」と発言した。与党FSLNのスアレス国会外交委員長は、「フネス大統領への追及は、どう見ても政治的なものであり、亡命に値する。」と発言した。

## 6 補正予算案の可決

21日、国会本会議において、賛成65票により2016年補正予算案が可決された。財務省は、21.39億コルドバ（約7,400万米ドル）の増加税収等を原資とし、地方自治体に1.98億コルドバ（約680万米ドル）、教育省に1.78億コルドバ（約614万米ドル）、保健省に2.42億コルドバ（約834万米ドル）、警察に2.63億コルドバ（約907万米ドル）、国軍に2.13億コルドバ（約734万米ドル）、最高裁に5,700万ドル（約196万米ドル）、運輸インフラ省に2.3億コルドバ（約793万米ドル）、最高選管に6,550万コルドバ（約226万米ドル）等を配分する。

### <主要経済指標>

	2016年			2015年	2014年
	9月	8月	7月		
インフレ率（前年同月比）	3.52%	3.8%	4.1%	2.77%	6.5%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△249.9	△274.3	△3,012.5	△2,820.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	203.2	191.3	2,421.7	2,632.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	453.1	465.6	5,434.2	5,452.9
海外送金（百万ドル）	未発表	107.9	98.7	1,193.4	1,135.8
外貨準備高(百万ドル)	2,489.3	2,481.5	2,460.2	2,492.3	2,276.2

（出典：ニカラグア中央銀行）